

---

# 幻桜鬼神

ANIRES

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

幻桜鬼神

### 【Nコード】

N9387Y

### 【作者名】

ANIRES

### 【あらすじ】

突然異世界に飛ばされた刹那。千鶴&薫溺愛最強男装ヒロイン！  
逆ハ！その正体は実は？

## 第一章く出逢いく(前書き)

グダグタです。それでもよい方は、どうぞ。

## 第一章く出逢い

目の前には、血の海が広がっていた。その中に刹那は血塗れになり、涙を流して立っていた。

「私が…これを？」

問うても、誰も答える者は居ない。見れば、沢山の人がその中に倒れている。その人物達は…

「嘘だ…父様、母様、…兄様、姉様…誠！聖羅！焰！扇華！聖！皆、私が殺つたのか？」

血塗れの自分の手を見る。気が付けば、他にも、妹達や弟達、友も倒れている。

「そ…んな、ウソ…だ…うああああ！！」

刹那が声を荒げた瞬間、強い光が彼女を包んだ。その中で刹那の意識は消えた。再び意識が戻った時には、見知らぬ場所に居た。力を無くし、小さな姿で。

「此処は何処だ？何でこんな所に」

私はどうしてこんな所に？此処は何処だ？

刹那が考え込んでいると、一人の男が声を掛けてきた。

「お嬢ちゃん、大丈夫かい？迷子になってしまったのかね？」

「？おじさん、誰ですか？」

「私はこの先で医者をしている雪村鋼道と言うんだ。君の名前は？」

「…刹那、鬼皇 刹那」

一瞬名乗るかどうか迷ったが、名前くらいは平気だろうと思いき名乗った。

「そうか、良かったら私と来るかね？」

鋼道は刹那に手を差し出す。

「……行きます」

どうしようか迷ったが、気付いたら手を取っていた。何故だかこの男なら信じられると思った。

「それじゃあ、行こうか」

そう言うって鋼道は優しく微笑み刹那の手を握り歩き出す。少し歩いてすぐ、『蘭法医ノ雪村』と、書かれた看板が掛かった家が見えた。

「あそこが私の家だよ。私にも君くらいの娘が居てね。とても優しく、気立ても良く、まだ五つなのに気が利いて、可愛らし子なんだよ」

そう言った鋼道の顔は、その子が可愛くて仕方ないと一目で解るもので、本当に大事なんだなと思った。

「名前は何て言うんですか？」

そんな鋼道を見て、ついその子の事が知りたくなった。そんな刹那の質問を聞いて、鋼道はとても嬉しそうに教えてくれた。

「千鶴と言うんだよ」

「千鶴：可愛らし名前ですな」

「君ともきつと、仲良くなれるだろう」

「だと良いんですけど」

「ははは」

刹那の言葉に優しく微笑みながら家の戸を開ける。

ガラガラ

「千鶴、今帰ったよ」

すると中から五歳位の可愛らしい女の子が出てきた。

「父様お帰りなさい！！」

そう言うってその少女はにこりと笑う。

／／／！！可愛い！！／／／

「ああ、ただいま」

その笑顔を見て、鋼道も微笑む。

「お仕事お疲れ様でした！：／／／？そのきれいなお姉ちゃん誰？」

刹那の視線に気付いた千鶴が小首を傾げる。

可愛い！！／／／何だこの小動物は！！抱き締めたい！！／／／

「この子はね、お家が判らなくなってしまうんだ。だから、お家

が判るまで家で面倒を見ることにしたのだよ」

「そうなの？よろしくね！えっと…」

「刹那だ、鬼皇 刹那」

「刹那ちゃん！！」

そう言つて千鶴がにこりと微笑む。

！！／／！！

「？どうしたの？」

「可愛い！！／／／」

ガバツ

「きゃあ！？／／／」

刹那が千鶴に抱き着く。突然の事に千鶴が小さな悲鳴をあげる。

「はっはっは、早速仲良くなれたみたいだね（微笑）」

「刹那ちゃん、くるしいよ／／／」

「ハッ！ごめんな！？」

慌てて千鶴を離す。

「ううん、だいじょうぶ！ちょっとびっくりしただけ！／／／（微笑）」

「可愛いな／／／」

鋼道は、そんな二人の様子を微笑みながら見ていた。

## 第一章く出逢いく(後書き)

千鶴可愛い!!ここまで見て下さって、ありがとうございます!  
!本当にグダグタですみませんでした!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9387y/>

---

幻桜鬼神

2011年11月28日00時52分発行